
音楽的スケジュール管理

三城蘭

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

音楽的スケジュール管理

【Nコード】

N0412J

【作者名】

三城蘭

【あらすじ】

くだらない発明を繰り返す教授と、毎回その発明に翻弄される助手の平和な日常。

「助手よ、音楽が我々生物にとって、重要な意味を持つことは知っておるな？」

「はい。情操教育という話もありますし、今では生まれてくる前の赤ちゃんや、家畜、果てには植物にすら音楽は大きな影響をもたらすと言われています」

「そうじゃ、クラシックを聴かせて育ったトマトがなぜか美味しいとか、そんなことはひょっとしたら人間の思い込みかもしれんが、とにかく音楽はすばらしい」

そう言って、博士は一台のコンピュータを助手の前に運んできた。
「これは？」

「いわゆる、ワークステーションという奴だ」

「それはわかりますが、これと音楽とどんな関係が？」

その問いを聞いていないのか、博士はワークステーションを起ち上げ始める。

「ところで君はスケジューリングというものを知っているか？」

「処理されるべく到着した命令をいかにCPUに割り当てるかということがスケジューリングですが……まさか、音楽を使ってスケジューリングを？」

「そう、一般的に使われる、ド・ミ・ソを優先順位の高いものに割り当て、その他、音楽において使用頻度の高い音を、それぞれプロセスの優先順位にあて、曲の進行をもとにスケジュール管理を行う。それが音楽的スケジュール管理だ」

話しているうちに、ワークステーションが立ち上がり、ログイン画面が出る。

「しかし、あまりに命令が多い場合は……」

「まあ、そのあたりが今後の課題だろうな。そういう場合は複数のマシンをオーケストラに見立てたグリッドコンピュータイングが良

いかと思っているのだが……」

博士がログインし、プロンプトが現れた。

「今からその初めてのテストを行なう。従来のスケジューリングでは十秒ほどかかるものを使ってだ」

そう言って、博士がテストプログラムを走らせた。だが……

「博士、もう十秒は過ぎたと思われますが……」

「おかしい……少なくとも優先度順程度の処理時間で終わるはずなのだが……」

そう話している間も、ワークステーションは沈黙を守っている。

「博士……いったい……」

「そうか！ 私とあろうものが重大な選曲ミスを！」

「そ、それでなんの曲をつかったんですか？」

「滝連太郎の『まちぼうけ』じゃ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0412j/>

音楽的スケジュール管理

2010年10月17日07時02分発行